



(ニッコウキスゲ)

里山通信

『蒲沢(かばさわ)』

第20号

平成19年6月12日発行

発行責任者

里山ねっと「赤坂」

代表 和田 伸太郎



6月7日(木)、8日(金)は、普段は、静かな蒲沢山里山体験の森に川前小学校の子供たちの元気な歓声が響き渡りました。7日には、3年生78名の児童が、赤坂ニュータウンの水道タンクの脇から林道に入り見晴台までいき、そこから旧定義街道に下り両側に広がる田んぼを見ながら帰って来るコースを探索しました(所要時間約2時間30分)。8日には、7月の泉ヶ岳のハイキングの予行練習を兼ねて、5年生79名の児童が、同じく水道タンクの脇から畑前草地までいき、

帰りは、清風園の側を通って旧街道を戻ってくるコースを探索しました(所要時間約4時間)。途中、6月の里山を代表するタニウツギやニッコウキスゲ、ギンリョウソウなどの珍しい植物との出会い、また、はじめてみる見晴台や畑前草地の風景は、子供たちにとっても新鮮な体験だったようです。22日には、今度は、4年生の児童が畑前草地まで出かけます。入梅直前の変化の激しい天候の中で行なわれたイベントでしたが、幸い強い雨にも降られずに無事実施することが出来ました。

